

リレー随筆

とある自粛モード下での自宅生活

藤元総合病院 消化器内科 福迫 哲史

遂に今回、リレー随筆のバトンが私にも回つてしましました。私はあまり余計な仕事は増やさないことをモットーとしておりましたが、大変お世話になった大塚彰行先生からの頼まれごとについ二つ返事してしまいました。

プライベートや仕事が充実しており、なかなか筆が下りない状況でしたが、締め切りが近づきましたので、そろそろ随筆させていただきたい所存です。

今年度医師6年目として私が派遣されたところは都城市の藤元総合病院でした。今まで鹿児島県以外で仕事は無論のこと、生活をするのは初めてのことでした。

コロナウイルスで騒がられる昨今引っ越しする際に県境を通る際に不要不急な外出は控えて下さいと道路のテロップが流れるのを見てしまい、新天地の生活に不安を感じてきました。

ただ、実際生活してみると都城市的住み心地は良く、自粛モードも緩和しつつあり、あの店この店でご飯食べたいお風呂に入りたいなど毎日ネットサーフィンするのが日課になります。

さて、コロナウイルスの最中自宅で過ごす時間が増えたかと思いますが、生活の変化等はありましたでしょうか。

私は以前通っていたジムがネットに挙げている自宅でできる筋トレ動画を見たり、前から趣味としてありますゲームのネット対戦に勤しむようになりました。

また、自粛期間で家にいる時間が多くなり、手持ち無沙汰になった影響もあるかと思いま

すが、最近長編アニメをみる様になりました。

例えば、ポケットモンスターに関しては、小学生の頃は主人公の言動は気にもせず、ポケモンバトルを見て楽しんでいましたが、齢30にもなると思い出補正もあるためか、主人公サトシの言動になぜか心を揺さぶられ（特に俺、マサラタウンのサトシ、ポケモンバトルしようぜという発言が私のお気に入りです）、号泣してしまいます。

世間ではコロナウイルスで多大な被害を被られていると思いますが、私個人といたしましては、新たな自分の一面も分かり、自分を見つめ直す良い機会になったと前向きに捉えています。

ここ最近自粛モードが謳われるようになり、常々思うのはインターネットの存在が自分にとっては切っても切り離させないものになってきたということです。

大学まで実家生活でしたが、実家ではインターネットが通っておらず、ネットをする機会がありませんでした。ところがいざ一人暮らしをはじめ、ネットを使用し始めると調べ物や作業が捗り、ここ最近ではサブスクリプションで音楽を聴いたり、医学系のサイトを使用するようになり、LINEでニュースを見たり、他人と連絡を取りあつたりと生活の大部分を占めるようになったと言っても過言では無いような気がしております。

おそらく、このコロナウイルスの情勢下で一人でひっそりと暮らしていますと、気が滅入って仕方がないと思いますが、インターネットの存在のおかげで知り合いの出来事がLINE

等のSNSで伝えられたり、上記の様な自宅での趣味が広がったりと退屈しない日々を過ごせたのではないでしようか（特に独り身としてはto goプロジェクトの店が分かったのが非常にありがとうございました）。

また自宅での生活が多くなった反動のためか少し外出したいなと思った際に再開した店などがインターネット上に掲載されておりますので、早速この週末は今までできなかつたジムで筋トレして銭湯に行って夜ご飯を食べるという贅沢三昧をしたいと思います。

テレビでは最近景気が低迷している、ダウ平均株価が下がった、上がった、コロナウィルスが何人発症等、暗くて単調なニュースばかりで中にはうんざりしている方もいらっしゃるかと思いますが、上記の様な楽しみ方もありますので是非試されてみてはいかがでしょうか。

いつものリレー隨筆と比べると短いと思いますが、話が脱線し過ぎない内に終わらせたいと思います。

この拙い文章を最後まで読んでください誠にありがとうございました。

次号は、今村総合病院 総合内科 留岡史樹先生の
ご執筆です。
(編集委員会)

